

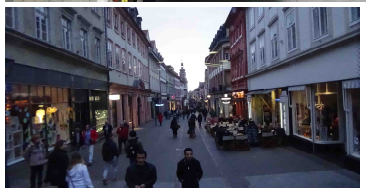
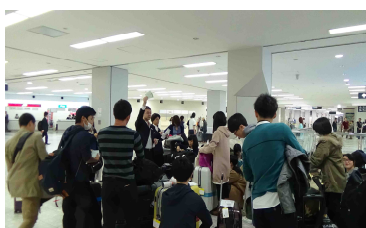
『ドイツ現地環境スタディ①』

- 日 時： 平成27年10月25日（日）～31日（土）
- 参加者： 2年SGコース生徒（33名）および職員（川上校長、坂西、鶴寛）
- 訪問先： ハイデルベルク・フライブルク・フランクフルト（ドイツ）
- 目 的： (1) 環境先進国ドイツで、大学訪問、環境関連施設の視察、姉妹校との交流等を行う。
(2) 事前の準備や事後の振り返り等をとおして、自国の文化や歴史について見つめなおし、英語発信力を向上させる。
(3) 環境学習から得た知識や情報を利用し、それぞれの課題研究の更なる深化をはかる。

【研修内容（1日目～2日目）】

研修内容

10月25日（日）



1. 学校出発（5：00）

早朝にも関わらず、多くの見送りの方々に見守られ、出発。途中インターで4名をピックアップし全員集合、福岡空港へ。

2. 福岡空港～関西国際空港～フランクフルト空港（13：30～14：00）

福岡空港から関西国際空港へ。そしていよいよ国外へ。フランクフルト空港へ12時間の長旅となった。機内ではそれぞれが思い思いの時間を過ごしていた。

フランクフルト空港には現地時間の昼過ぎに到着。そこから今度はバスの旅。熊本市と姉妹都市関係であるハイデルベルクを目指す。

3. ハイデルベルクに到着（14：00～15：30）

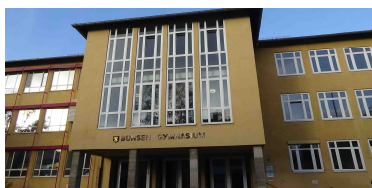
無事ハイデルベルクに到着。ドイツの風景に囲まれ、ドイツにきたことを改めて実感。市内を散策しながらレストランへ向う。

4. レストランへ（20：00～22：00）

大きな画が飾られた、いかにもヨーロッパらしいレストランで夕食。長旅の疲れが少しは和らいた。お店の女主人は親日家のように、いくつか日本語も披露してくれた。

夕食の後はホテルにチェックイン。翌日からはいよいよ研修開始となる。

10月26日(月)



1. 起床(7:00~)

みなしっかりと朝食をほおぼる姿に少し安心する。早めに準備も整い、いざブンゼン・ギムナジウムへ。姉妹校提携を結ぶ予定である。

2. ブンゼン・ギムナジウム訪問(8:50~)

予定よりもやや早い到着であったが、ブンゼンの先生方が暖かく迎えてくれた。交流の内容は以下のように滞りなく進んだ。

- (1) 校内ツアー
- (2) 済々黌生による日本文化紹介プレゼンテーション(英語)
- (3) ブンゼン生徒からの、町や学校紹介、及び環境研究についてのプレゼンテーション(英語)
- (4) E-Team(環境エネルギーについて研究している)からのプレゼンテーション(英語)
- (5) 姉妹校提携式
- (6) 写真撮影・昼食(ブンゼン・ギムナジウム学食)

生徒たち同士はすぐに打ち解け、互いに英語を使って交流を深めた。来年ブンゼン高校から済々黌への訪問も決定した。みんなで昼食を食べた学食は多くの生徒たちで活気にあふれていた。

3. エコロジカル・ガーデン(ハイデルベルク大学関連施設)でのフィールド・ワーク

絶好の天気の中、以下の3つのコースに分かれての環境(生態系)に関するフィールドワークを行った。

絶好の天候の中生徒達は自然の中で、昆虫や植物の生態系に関するレクチャーを受けたり、実際に葉っぱをすりつぶしティーを作り飲んだりと活動を通して生態系についての理解を深めていた。

4. ハイデルベルグ視察①

夕食に向かう前にハイデルベルクの街中を散策した。古城と大学と市電という熊本市との共通点の多い町であった。

5. 夕食後ホテルへ

夕食を食べホテルに帰りついた。時間に余裕があったのでそこから近くのスーパーに全員で行ってみた。買い物をするものも見られた。2日目が終了した。